

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クボタ堺臨海工場新築工事(M6棟)	階数	地上3F,地下0階
建設地	大阪府堺市西区築港新町3丁7、8	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	500人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,200時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年9月20日
敷地面積	5,328 m ²	作成者	日高 啓太郎
建築面積	1,879 m ²	確認日	2022年9月21日
延床面積	4,455 m ²	確認者	野上 雅也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

① 参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み 76% (92 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の 66% (46 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+ 66% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4.0

Q1 室内環境: 3.5

Q3 室外環境(敷地内): 3.8

LR1 エネルギー: 4.6

LR2 資源・マテリアル: 3.8

LR3 敷地外環境: 3.7

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	工場敷地の中央付近に位置する施設であるため、十分な管理体制を確保しつつ、従業員の方々が適度に緑や季節を感じられるような施設を計画し、また環境負荷への低減にも寄与するよう取り組んだ。	その他 特になし。
Q1 室内環境	Low-Eガラスを採用し、熱負荷を抑制しつつ、グラデーションブラインドや水平ルーバーによる導光システムによる昼光の適度な利用を計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 既設の緑地を考慮した総合的な緑化計画を整理し、当該施設だけでなく、広大な敷地の各施設とそこに従事する従業員の方々に寄り添う外構計画とした。
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制、高効率設備システムの採用等で建築的な手立てとともに、効率的運用のためには、エネルギー消費量の目標値を設定し、運用管理体制を計画した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に努めた。
Q2 サービス性能	食堂、事務室を利用するにあたり、快適でフレキシビリティの高い空間を計画した。	
LR2 資源・マテリアル	内装計画においては人体に影響がないよう配慮した材料を採用した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	クボタ堺臨海工場新築工事(M6棟)	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区築港新町3丁7、8-1、8-2、8-3	3	S
	主用途/延床面積	事務所 / 4,455.48 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	4	●●●●●
エネルギー削減	5	●●●●●
建物の断熱性	5	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア			
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.3	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	4.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0	5
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.8	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	1.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.0	○

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	